

職員自己評価 集計結果

佐倉市立佐倉幼稚園

評価目安	A あてはまる…8割以上	B だいたいあてはまる…6割から8割
	C あまりあてはまらない…5割から6割	D あてはまらない…5割以下

※1回目を7/11 2回目を12/20に実施

内 は1回目との比較
(差が生じたもの)

回答8人(100%)

番号	項目	評価基準			
		A あてはまる	B だいたいあてはまる	C あまりあてはまらない	D あてはまらない
●園児は… 園児全体を見て評価					人数 (%)
◎教育目標『よく遊びよく学びやさしい心とはじける笑顔』 目指す姿について					<input type="checkbox"/> …1回目 (7月)との差
1	「感じる子ども」に育っていますか。 (感じ心を動かして味わう) (感じたことや思ったことを表現する)	8 +3 (100.0)	0 -3 (0.0)		
2	「よく遊ぶ子ども」に育っていますか。 (興味や関心をもちやってみようとする)	6 +1 (75.0)	2 -1 (25.0)		
3	「考える子ども」に育っていますか。 (なぜだろうと考えたり試したりしてやり遂げようとする)	5 +2 (62.5)	3 -2 (37.5)		
4	「やさしい子ども」に育っていますか。 (身近な人や自然にかかわり、親しみや思いやりの気持ちを持つ) (思いを伝え合い、相手の気持ちに気づく)	5 (62.5)	3 (37.5)		
5	喜んで幼稚園に通っていますか。 (登園を楽しみにする、遊びや行事を楽しんでいる、遊びの続きを楽しみにする、友達や先生と会ったり一緒に遊んだりすることを楽しみにするなど)	6 +2 (75.0)	2 -2 (25.0)		

番号	項 目	評 価 基 準			
		A	B	C	D
●幼稚園は…	担任は自分の取り組みの中で、その他の職員は自分の役割で担当がある部分 はその取り組みの中で、自分の担当がない部分については園全体を見て評価				人数 (%) □…1 回目 (7月)との差
6	教育目標の目指す姿「感じる子ども」「よく遊ぶ子ども」「考える子ども」「やさしい子ども」を育む保育をしていますか。	6 +2 (75.0)	2 -2 (25.0)		
7	主体的な遊びを通して学ぶ環境づくりができていますか。	3 +1 (37.5)	4 -2 (50.0)	1 +1 (12.5)	
8	教育目標や方針をわかりやすく伝えていますか。 (総会、保護者会、ミニ集会、たより、ホームページなど)	5 (62.5)	3 (37.5)		
9	保育の様子や子供の姿をわかりやすく伝えていますか。 (登降園時の連絡、たより、ホームページ、掲示、保育参観、保護者会、面談、ミニ集会など)	6 (75.0)	2 (25.0)		
10	子ども一人一人の性格や発達を理解し、それに応じた援助や指導をしていますか。	5 +1 (62.5)	3 -1 (37.5)		
11	温かい態度で接し、信頼関係を築いていますか	8 +2 (100.0)	0 -2 (0.0)		
12	基本的な生活習慣（挨拶・着替え・片付け・食事）や、話を聞いたりあいさつしたりする力を育てていますか。	5 +1 (62.5)	3 -1 (37.5)		
13	集団生活に必要な約束やきまりに気づかせ守ろうとする力を育てていますか。	6 (75.0)	2 (25.0)		
14	安全で清潔な環境を保つよう取り組んでいますか。 (遊具の管理、避難訓練、災害発生への備え、室内外の清掃・掲示など)	5 +1 (62.5)	3 -1 (37.5)		
15	地域に開かれた園づくりに努めていますか。 (近隣の小学校・高校、幼稚園や保育園との交流、学校教員体験研修の受け入れ、園だよりの地域回覧など)	6 (75.0)	2 (25.0)		
16	ペンギンルーム（預かり保育）・くまちゃん広場（園開放）・らっこちゃんクラブ（親子教室）は、子育て支援に役立っていると思いますか。	7 -1 (87.5)	1 +1 (12.5)		

●職員記述

○教育目標・保育全体について

- ・縦割り1学級で、さまざまな課題はあったが、良い刺激も多かった。思いやりやいたわり、親しみや憧れの気持ちが育った。個人差はあるものの、園児は個々のペースで大きく成長している。
- ・生き物が大好きなクラスで、項目3「考える子ども」、項目4「やさしい子ども」に特につながっている。飼育ケースの管理、最後まで扱い方(片付け)等にやや課題が残ると思う。
- ・項目7「主体的な遊びを通して学ぶ環境作り」について
 - ・園の課題に研究の2年目の取り組みをしながら努め、環境作りについて試行錯誤してきた。1クラスのメリット、デメリットを意識しながら定期的に園全体を(職員全体で)振り返り、見直し、改善していくことが必要と思う。
 - ・遊びや生活の環境作りは、教師の意図的な設定を基本としながら、子どもに提案したり、対話しながら一緒に再構成したりしていく場面も出てきて、「共主体」な保育につながってきている。子どもと共に場を作っていく部分を増やしていけるとよいのではないかな。
 - ・主体的な遊びが始まって、人数が集まらない等の事情から、なかなか遊びが深まらず、学びまで進展しづらい場面があったように思う。
 - ・担任の先生の努力により、子どもが自分で選んで遊ぶことや、後半は特に対話を増やして、子どもと相談しながら遊びと生活、行事への取り組みをすることができていた。子どもの主体的な姿勢や、考える力、話す力、人の考えを聞く力や相手を認める姿勢、自分が決めたことにあきらめずに取り組む姿勢につながっていた。
- ・様々な子がいる中で、先生方にたくさん助けていただきながら一緒に育てていただき感謝しています。
- ・業務に追われて時間的に余裕がないと感じる時があり、もう少しゆとりがあればもっと工夫したり環境を整えたりできたのではと反省している部分がある。
- ・課題であった、子どもが教師を頼ったり、教師側も子どもが考えるのを待てずに口を出してしまったりしがちであった点については、以前より職員が意識して子どもを見守ることができるようになってきたと思う。引き続き、自ら考えたり試したり、自分達で解決しようとしたりする力が育つよう見守り自立への育ちを支えていきたい。
- ・少人数の環境の中、交流体験を多くもつことができ、よい刺激を受けることができた。交流は有効な活動だった。
- ・一人一人の思いや意見を丁寧に聞き、個々に合わせた援助ができた。
- ・少人数の良さもあるが、一方で、一定の園児数がないとできない経験もやはり多いと感じた。

○項目8、9教育目標や方針、保育の様子を伝えているかについて

- ・園だよりの巻頭言やクラスだよりの、玄関写真掲示など、保育の様子がよくわかり、保護者に伝わるものになっていると思う。伝える努力はしている。
- ・ミニ集会で、教育目標と研究の取り組み、保育の様子や教師の思いを伝えることができた。学校評議員や保護者の感想・意見や家庭での子どもの様子を聞くことができ有意義であった。
- ・保護者の送迎で登降園時に様子が見えやすい環境で、保育の様子も伝えやすく、子ども達の興味関心や成長を一緒に見守っていただけていると感じる。

○安全・衛生、地域に開かれた園づくりについて

- ・園全体の中で普段は使用していないスペースの清潔や整頓の維持、使用しているスペースも一時置き等が多くなりがちであると思う。職員はもちろんのこと、子ども達と作り出す生活空間を含めて、皆で意識していきたい。
- ・今年はコロナの消毒作業がなくなり助かった。ほかの業務に充てることができた。
- ・遊具の管理については、定期的に点検し、職員間で協力して進められた。園庭の環境整備は保護者にも多くのご協力をいただき助けていただいた。(お父さん方にも来ていただいた)また、教育委員会にも手伝ってもらえてありがたかった。継続してお願いしていきたい。
- ・地域を活用したり、交流を増やしたりすることができた。園開放や夕涼み会などで地域の方に来てもらうことができたのも良かった。

●園評価考察

◎今年度2回目である職員の自己評価結果は、1回目(7月)と比較すると、殆どの項目でよい方へ変化しており、職員は子どもが成長し、また、職員の取り組みの目標はほぼ達成できたと評価している。

◎園の継続的な課題であった項目7「主体的な遊びを通して学ぶ環境づくり」について

A・B評価を合わせて87.5%と、8割以上になったことは、職員が今年も園内研究のテーマに挙げて取り組んだ大きな成果である。保護者からもA評価(100%)を得ており、たよりや降園時連絡、保護者会、ミニ集会等で保育の様子を伝えるなどして取り組みへの理解を得られたものと思われる。一方で、職員ではB評価が5割であることや、少数ではあるもののC評価があり今回の職員評価の中で一番低い項目となったこと、また、職員の記述からも、まだ課題があることがわかる。

◎職員、保護者ともに比較的ポイントが低めであったのは

項目3「考える子どもに育っているか」であった。(職員A62.5%、B37.5%、保護者A53.8%、B46.2%)

上述の項目7を意識して取り組んでいく中で、併せて上昇していくものと思われる。今後も幼児の興味・関心に合わせた環境構成と援助に努めていきたい。

◎項目6「教育目標の目指す姿を育む保育をしているか」について

職員評価がA評価75.5%であったが、職員全員が意識し、100%目指して自分の役割の中でしっかり取り組んでもらいたい。

◎保護者のA評価が8割以上となったものが12項目にのぼったこと、また、項目11「温かい態度で接し、信頼関係を築いているか」で職員、保護者共にA評価が100%であったこと、そして項目10「一人一人の性格や発達を理解しそれに応じた援助や指導をしているか」で保護者A評価が100%であったことは、職員の日頃の心掛けや努力により理解・信頼を得ることができた大変励みとなるありがたい結果であった。良いところを自信につなげ、今後の取り組みに生かしていきたい。